

異世界種付けおじさん

ああ♡

おおう
何のかんの
言って
もうこんなに
濡らしてるじゃ
か……

いやっ!
あっあっ!
あっ!

頭が…
痺れ…♡

ぬち♡
ち♡
あ♡

ふるん!

ん…♡
も♡
じ♡

ん…♡
も♡

び♡
び♡

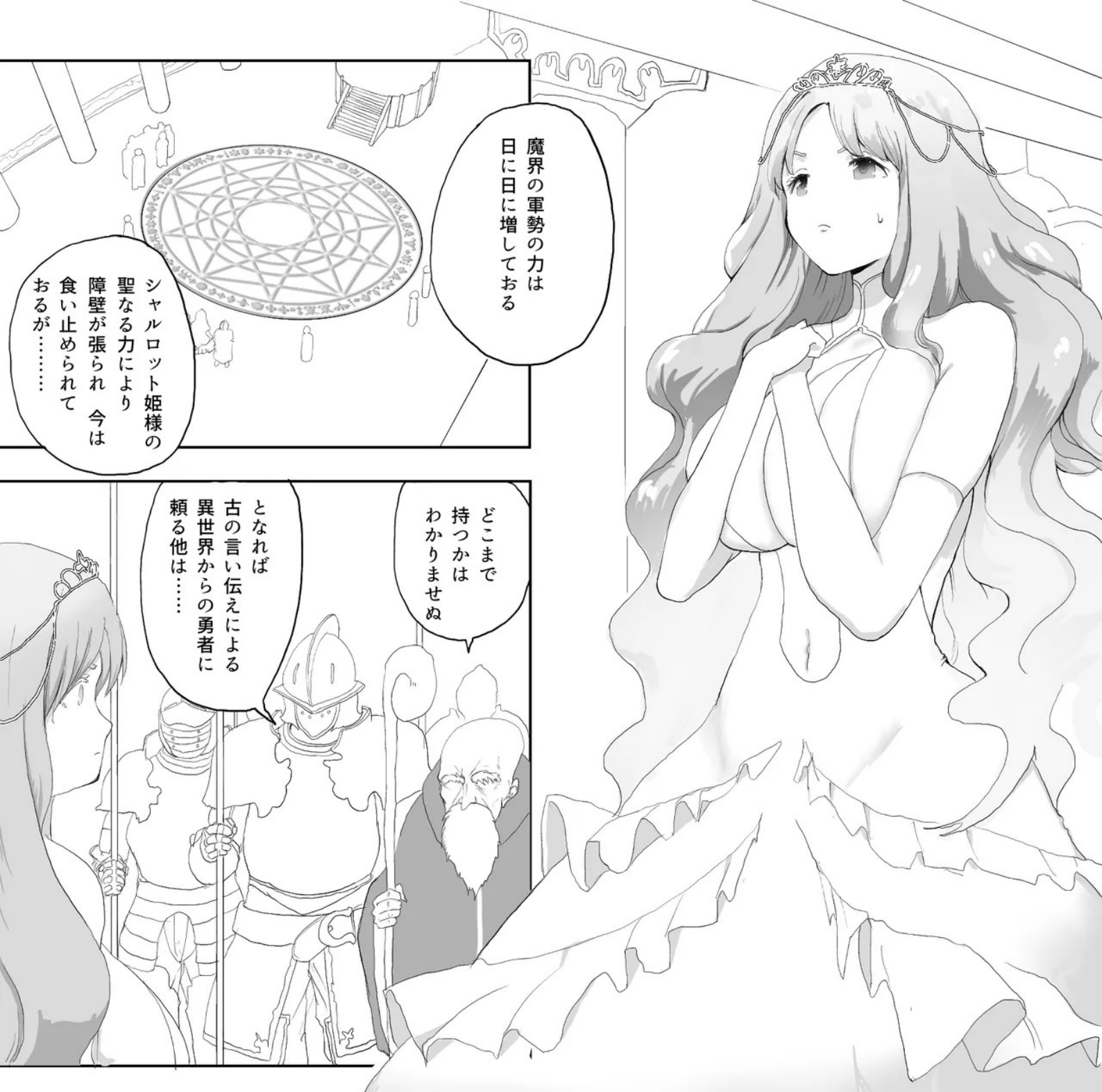
く♡
く♡
く♡



.....
それでは

異世界からの
勇者召喚の儀を
執り行う





魔界の軍勢の力は
日に日に増しておる

シャルロット姫様の
聖なる力により
障壁が張られ今は
食い止められて
おるが……

どこまで
持つかは
わかりませぬ

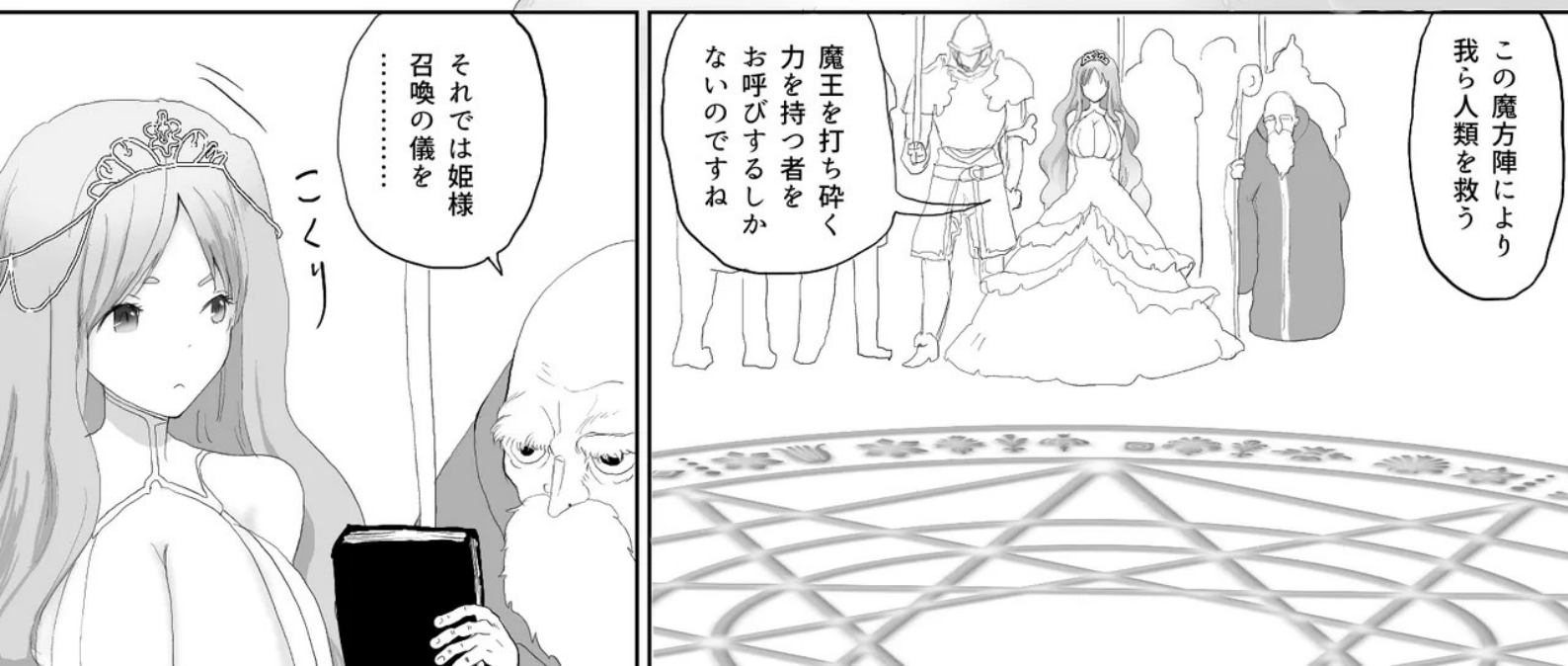
となれば
古の言い伝えによる
異世界からの勇者に
頼る他は……

この魔方阵により
我ら人類を救う

魔王を打ち砕く
力を持つ者をお
呼びするしか
ないのですね

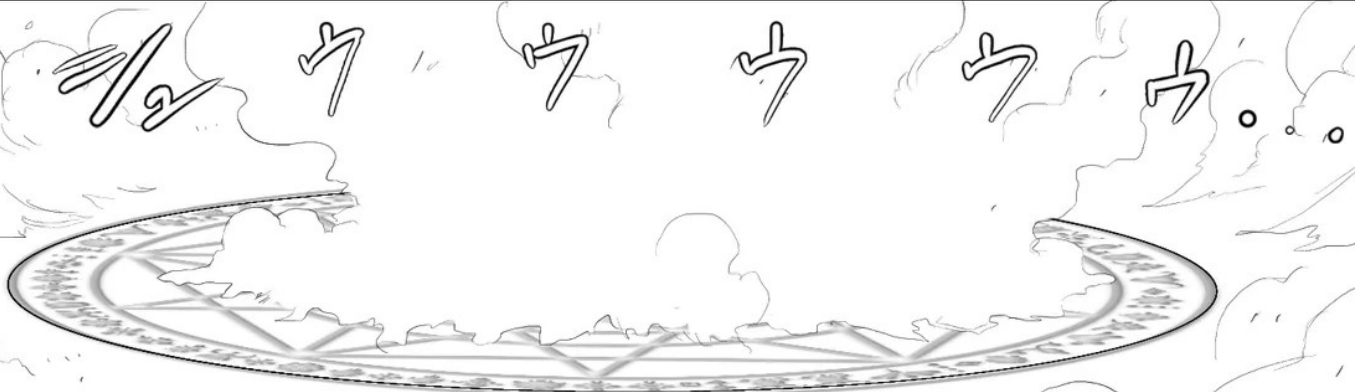
それでは姫様
召喚の儀を
………

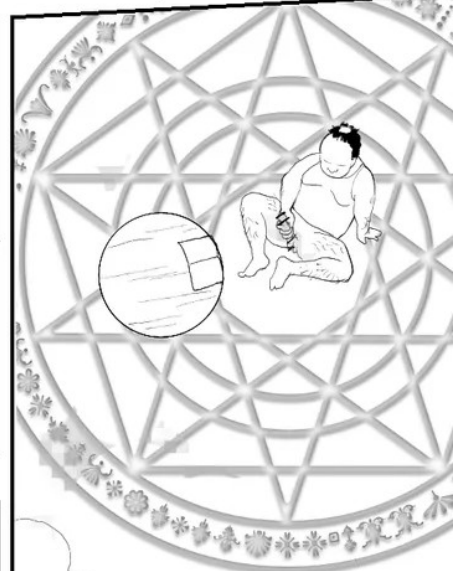
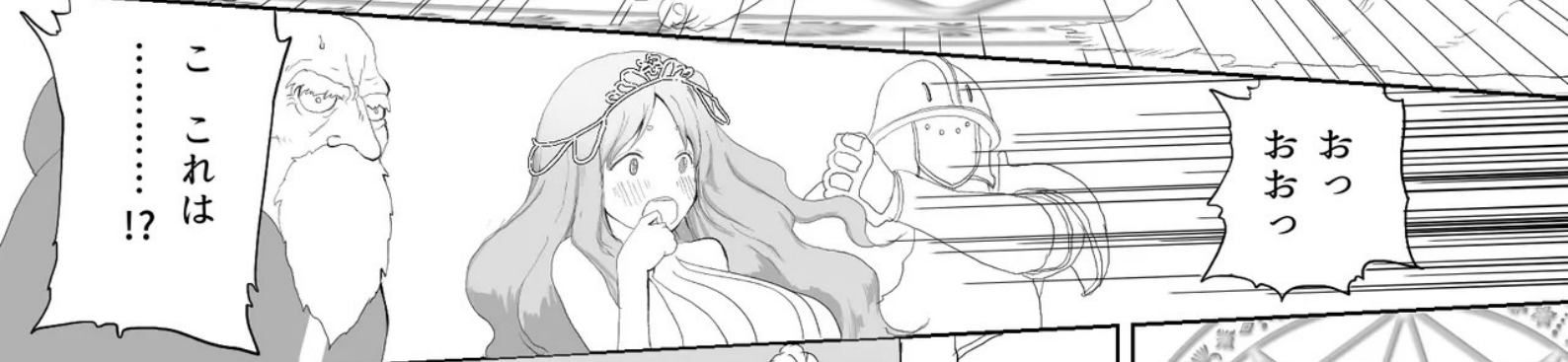
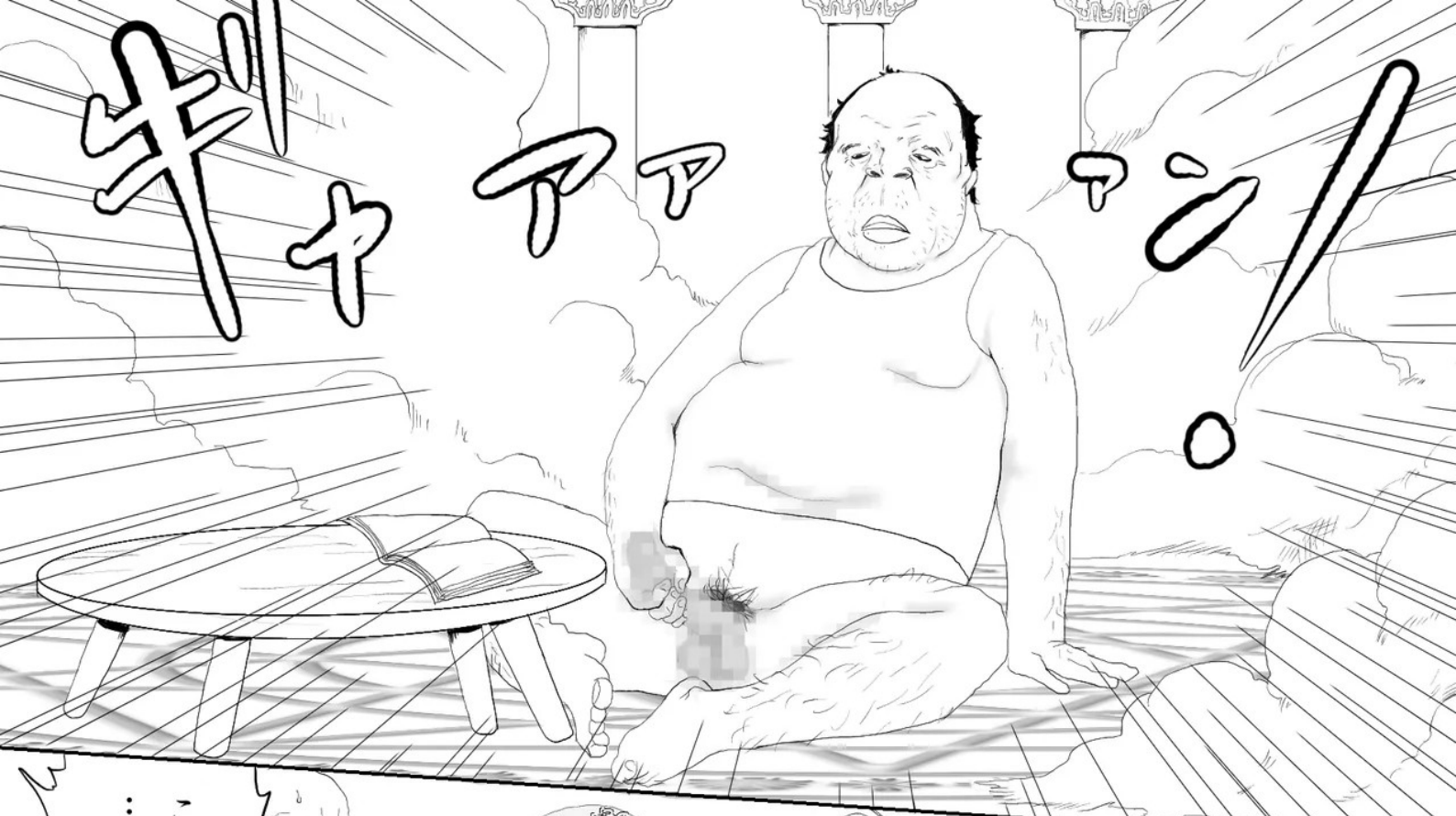
こくり



選ばれし
異界の勇者よ

我が声に応え
いでよ!!

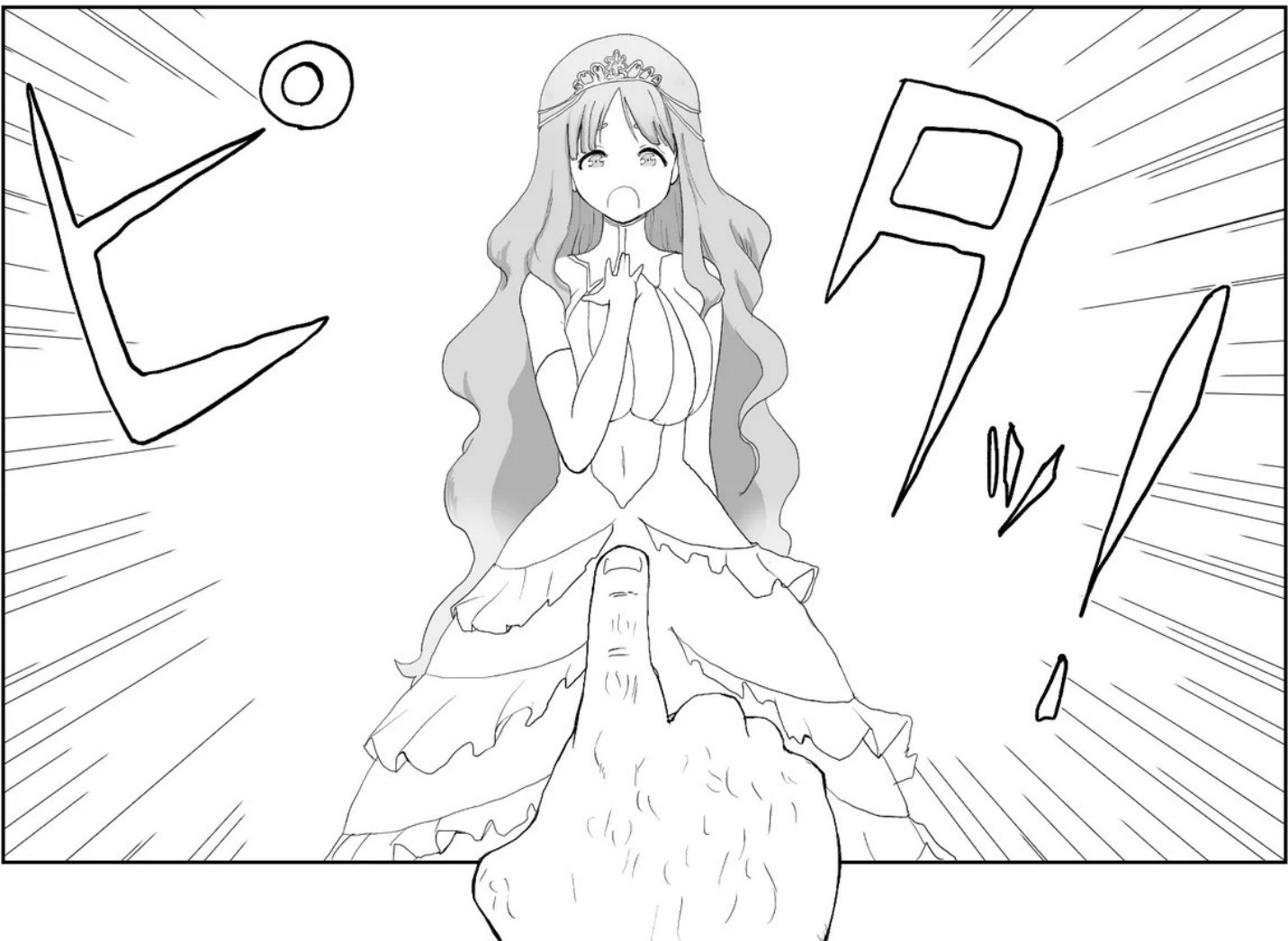


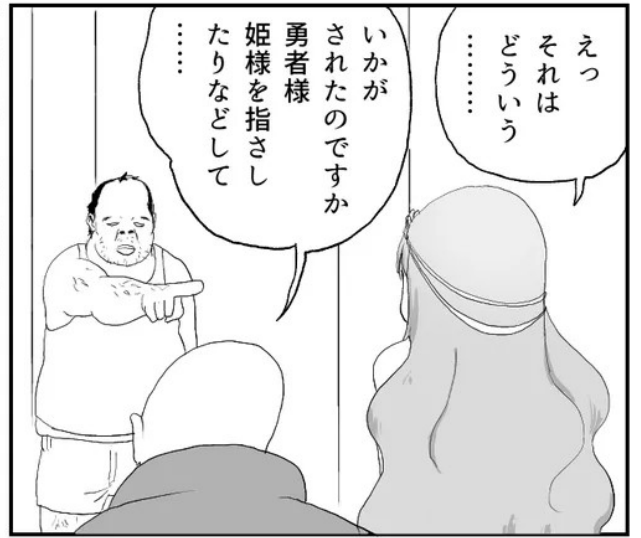




今我が国は
魔王率いる魔族の
軍勢に脅かされて
おります

貴方様をお呼びだて
したのも
どうか勇者である
貴方様のお力で
我が国をすくって
いただきたいがため！





ししばらく
そこで落ち
つかれるが
よろしい
かと

まあ
突然 異界へきたの
ですから

取り乱すのも
仕方
ありません

のちほど
またお話
いたしましょう…

姫様
すぐに お着替えを
お持ちします

ありがとうございます
ございます



老師：
あの者 本当に
伝説の勇者なの
でしょうか？
私にはとても…

そうじゃとも
いや

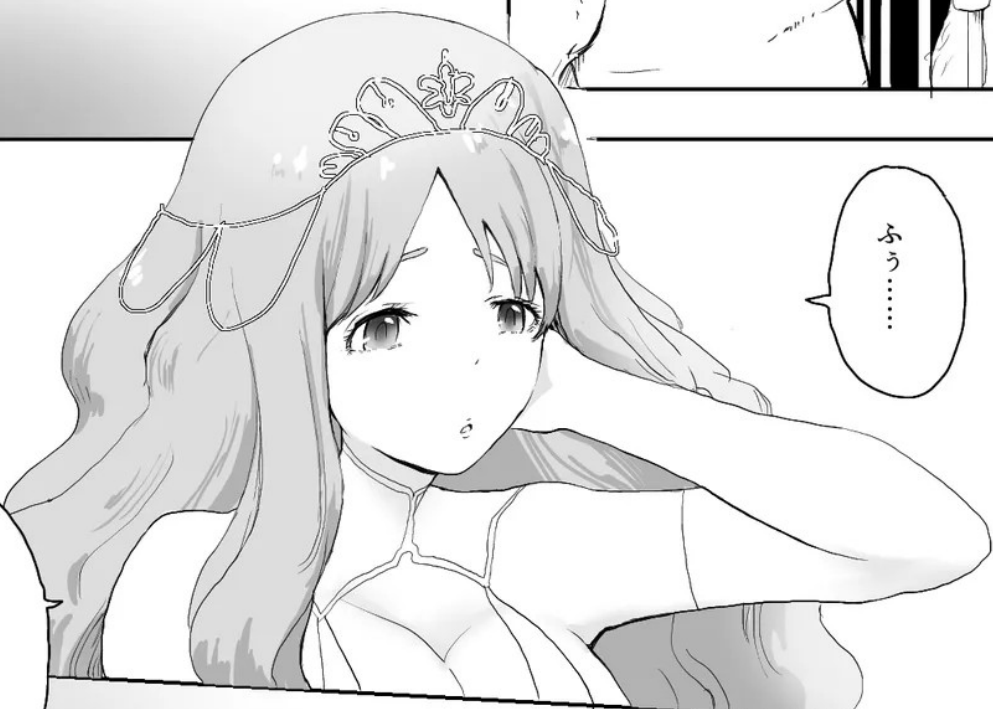
そうであつて
もらわねば
困るわ……！！



ふう……

びっくりして
しまいましたわ
……

ギシ…



勇者様、か……
何か素敵な殿方が
来てくれやしないかと
ぼんやりと思っていました

わかったよ
お姫様
と魔王は
僕に
まかせて！

まったく
世話をやける
お姫さんだぜ！



いえ
そのような
ことを言っは
勇者様に
失礼ですわね

まさか
あのような
……



ましてそのような
甘い夢を
見られるほど
子供でもありませんし

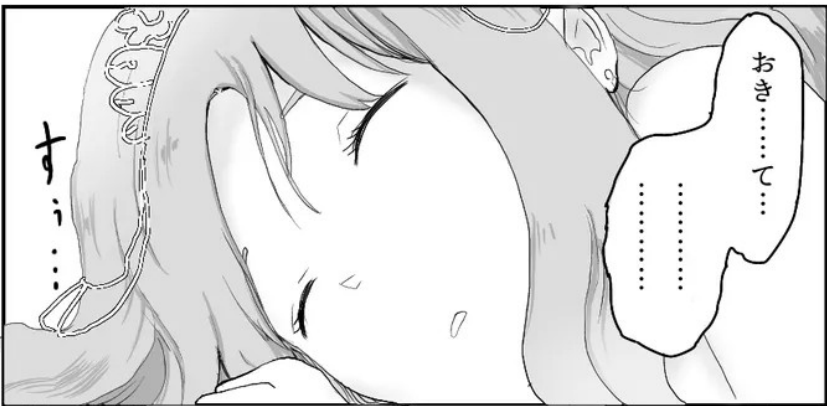
そのような
余裕もない

一国の姫として
魔王の脅威の前に
夢を見ている場合では
ないのです……



う……
それにしても
何だか眠い
ですわね……

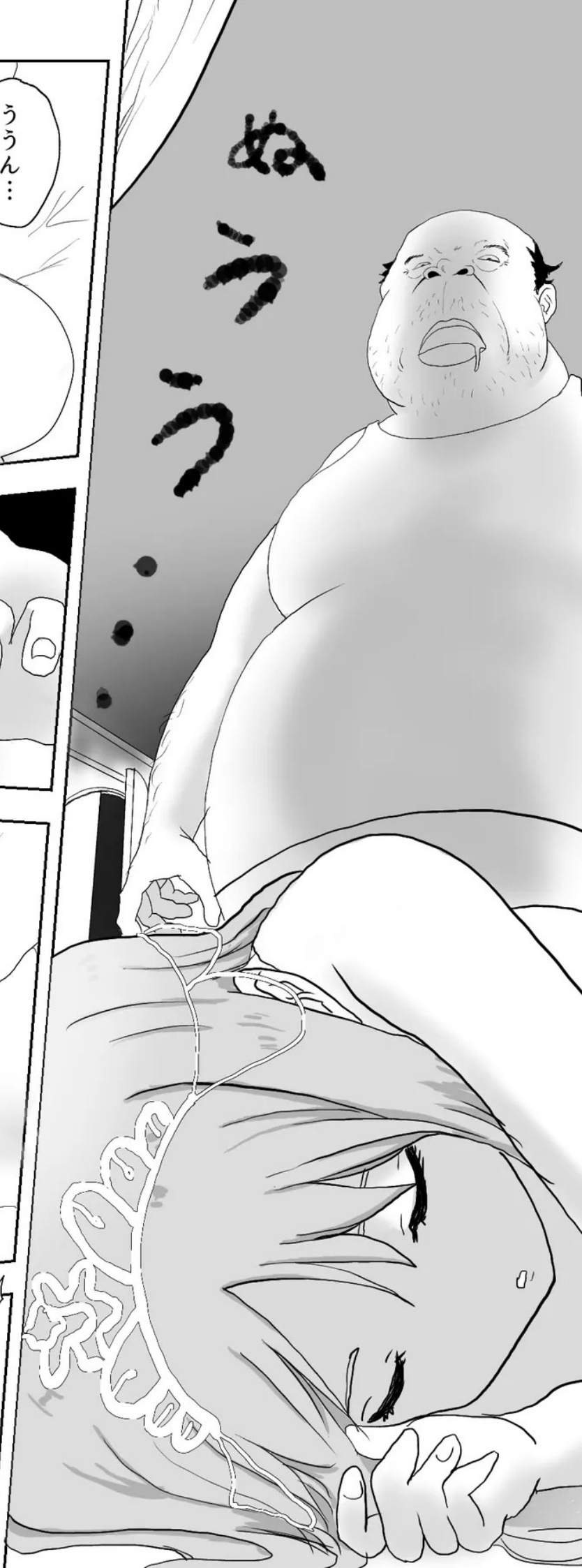
着替えを
すませたら
勇者様と
魔王討伐の
協議をしなければ
……
起きていないと……

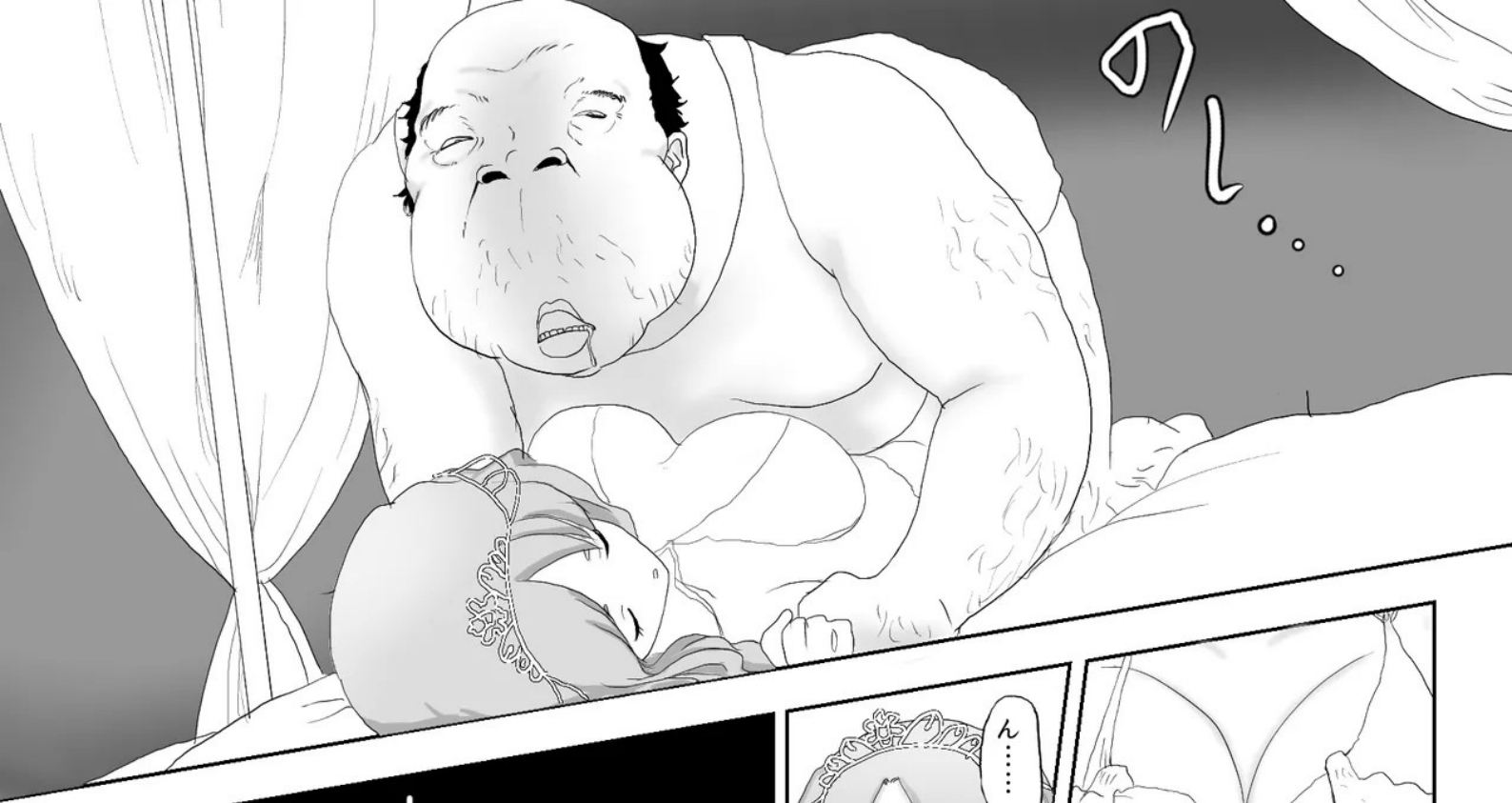


おき……て……

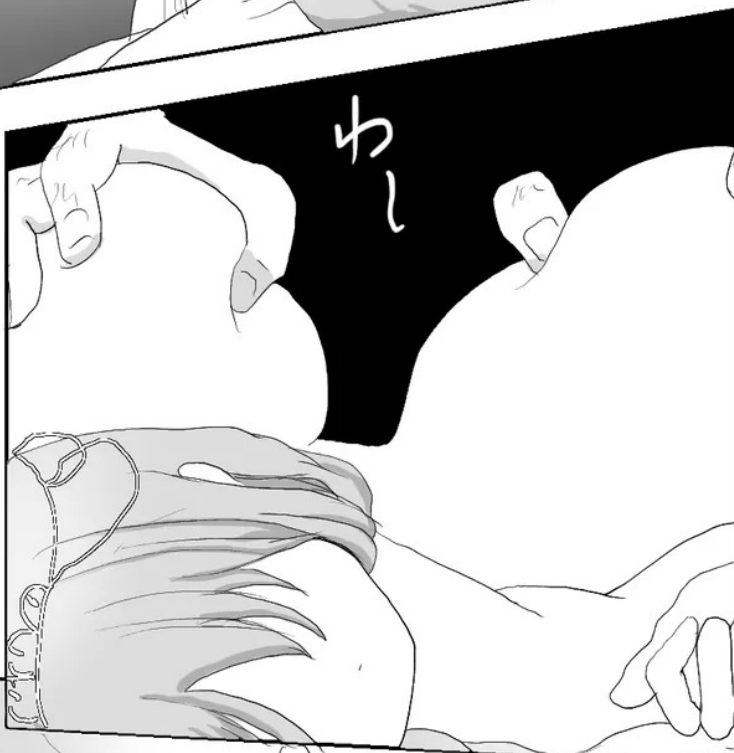
す……







のし...



わし



ん...



おるん!



おみ♡

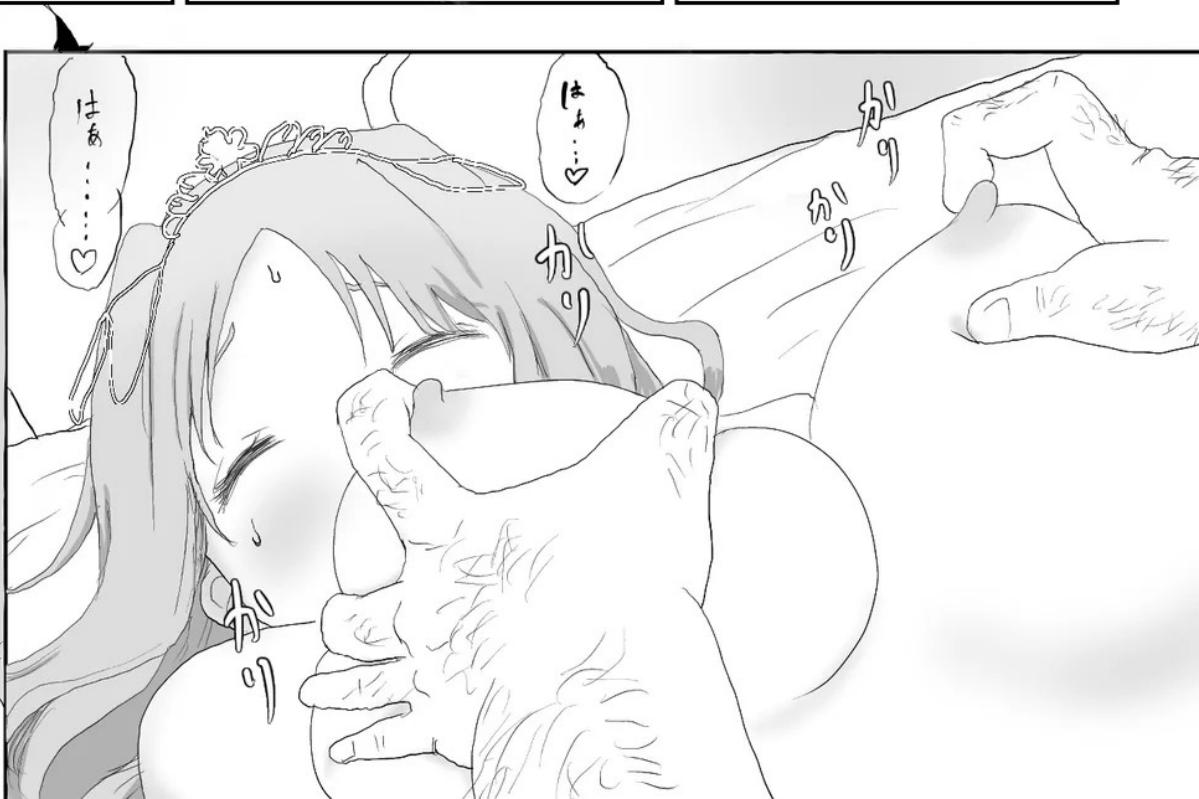
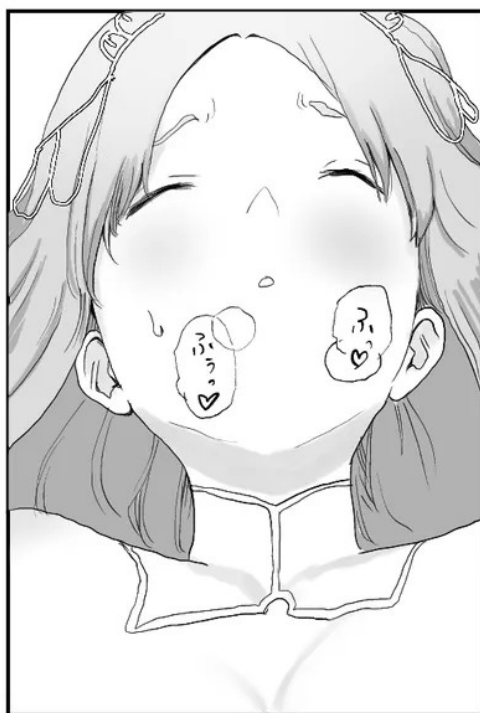
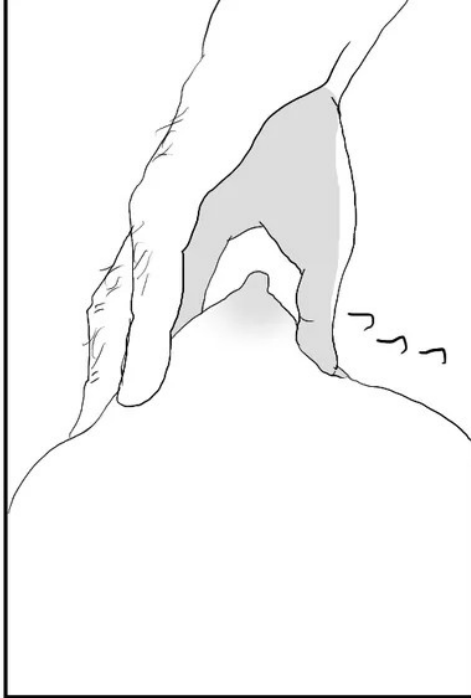
おみ♡

ん...

おみ♡

ん...

おみ♡
おみ♡
おみ♡



う…ん？

いやっ！
何ですの!?

くさくさ

むあぁ

おやめ
ください!

ああの
何を…!?

ゆ
勇者様!?

は離して
……



ホァア〜...

オーツホツホツ

シャルロット姫
いい格好ね!

……!?!
何者?!?

お初にお目にかかるわね

私は魔王
グランリーゼよ!

ええっ!?

どうかしら
シャルロット姫?

私が異界から
呼んであげた
『勇者』は!

……!?!
異界から呼んだ

……
何を言って



教えてあげるわ
お前たち人間が
異界から勇者を
呼ぼうとしてる
ことは知っていた

だから私は
お前の召喚魔法に
干渉し
本来 呼ぶべきだった
勇者を脇に追いやり
違う者を呼んだのよ!!

なっ……
……!!?

シャルロット
お前の
結界魔法のため
我が魔族は
大軍を人間界に
送れない

けど 結界は
お前の処女性に
よって力を
発揮する

というわけで
お前の処女を
奪える者を
呼んだってわけ

その醜い男は
勇者でも何でもない
前の世界で性犯罪を
繰り返してきた
ただのロクデナシよ

お前の純潔を
汚し人間界を
破壊するのに

うってつけの
男よ!!

なんかいきなり
牢にプチ込まれ
てたのは
計算外だったけど
まあ我が魔法で
出してやったし
他の人間どもは
眠らせたわ

さあ
異世界からの
男よ

姫の純潔を奪い
結界を消して
しまいなさい!

い……

いやっ
離してっ!

ほんとに
お姫様も
期待してるんじや
ないのかア

ん？

何言ってるんだア

乳首こんなに
ピンピンに
シコらせといて
よォ………



ほおすら
ここに
挿れるゾオ

ぐっ……!

かっ!!

やあつ!

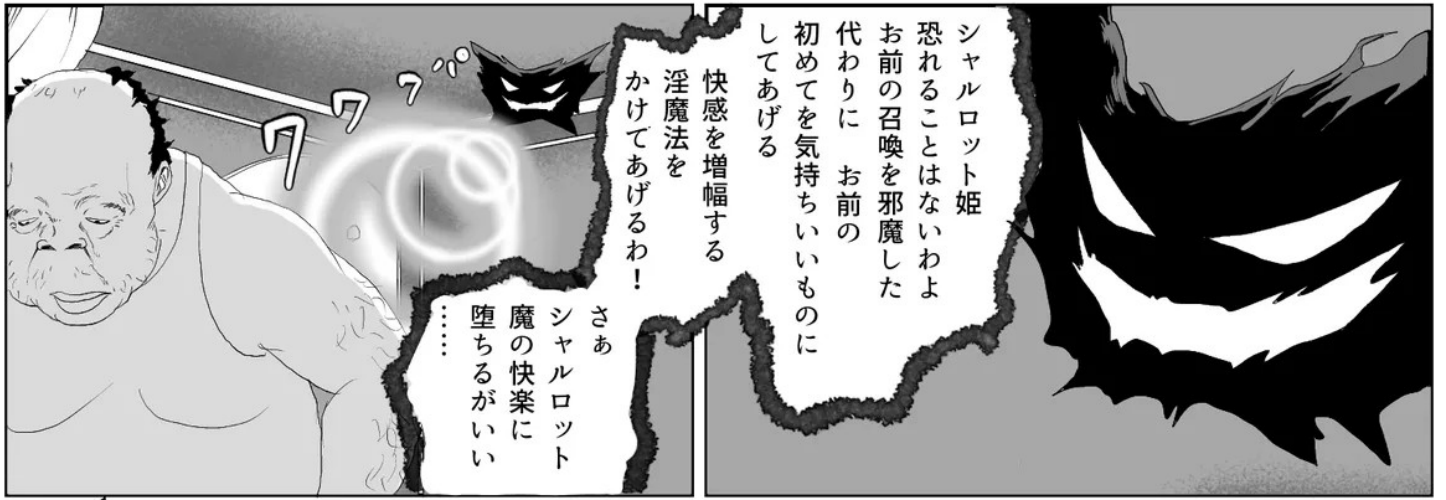
ほっ!!

そのような
ことをすれば
結界が……!!

ククク
もうすぐ我らを
止めることは
できなくなる……!!

おじさんのオンナに
してやるからなア

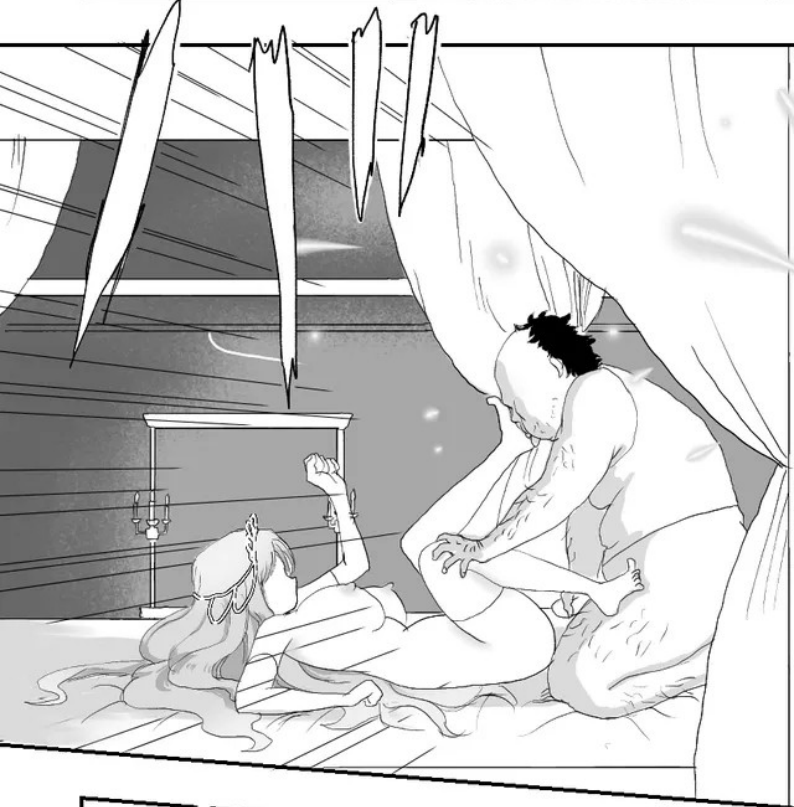
お おやめ
ください!



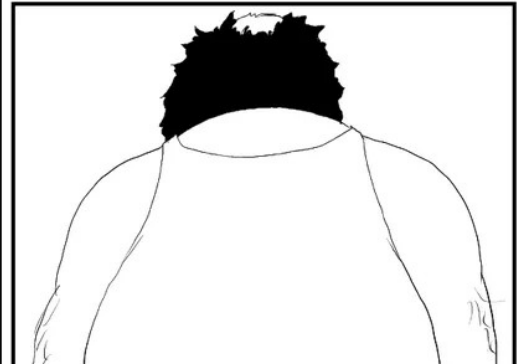
シャルロット姫
恐れることはないわよ
お前の召喚を邪魔した
代わりに お前の
初めてを気持ちいいものに
してあげる

快感を増幅する
淫魔法を
かけてあげるわ!

さあ
シャルロット
魔の快楽に
堕ちるがいい
……



なっ…
弾かれた
!?



何なの
……!
!?

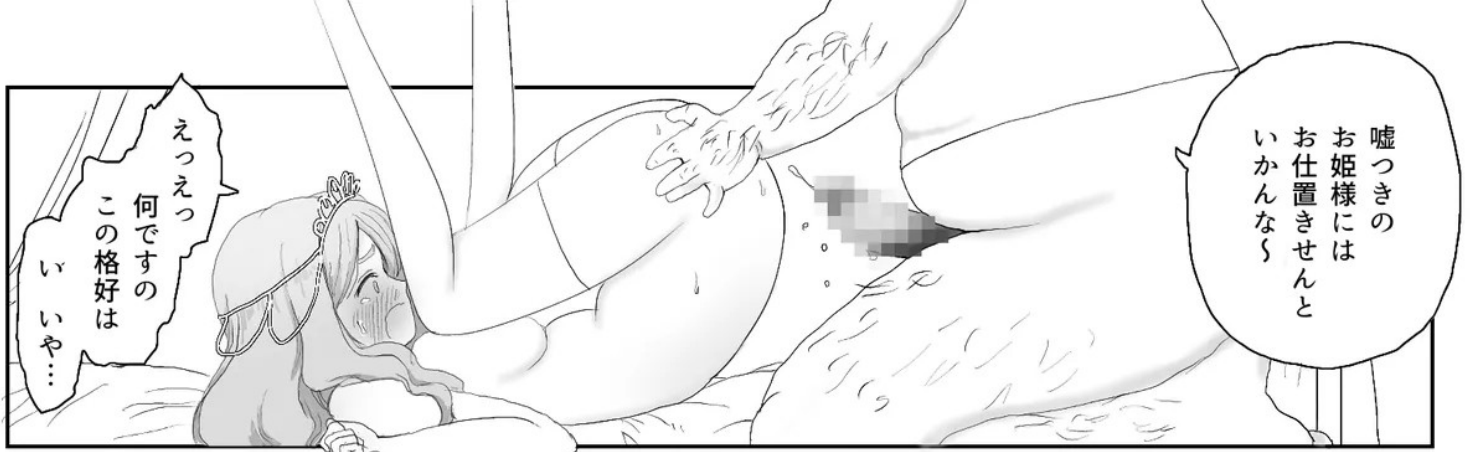
自分には
そんな魔法など
不要だとしても
言いたい……!
!?

ほおら
ちんぼ入るゾ
……

いやっ
いやっ
……
やめて

いやあっ!!

んっ



嘘つきの
お姫様には
お仕置きせんと
いかなる

えっえっ
何ですの
この格好は
いや...



深い所を
ガツツリ突いて
イカせてやる
からな

やめて
やめて
やめ.....!



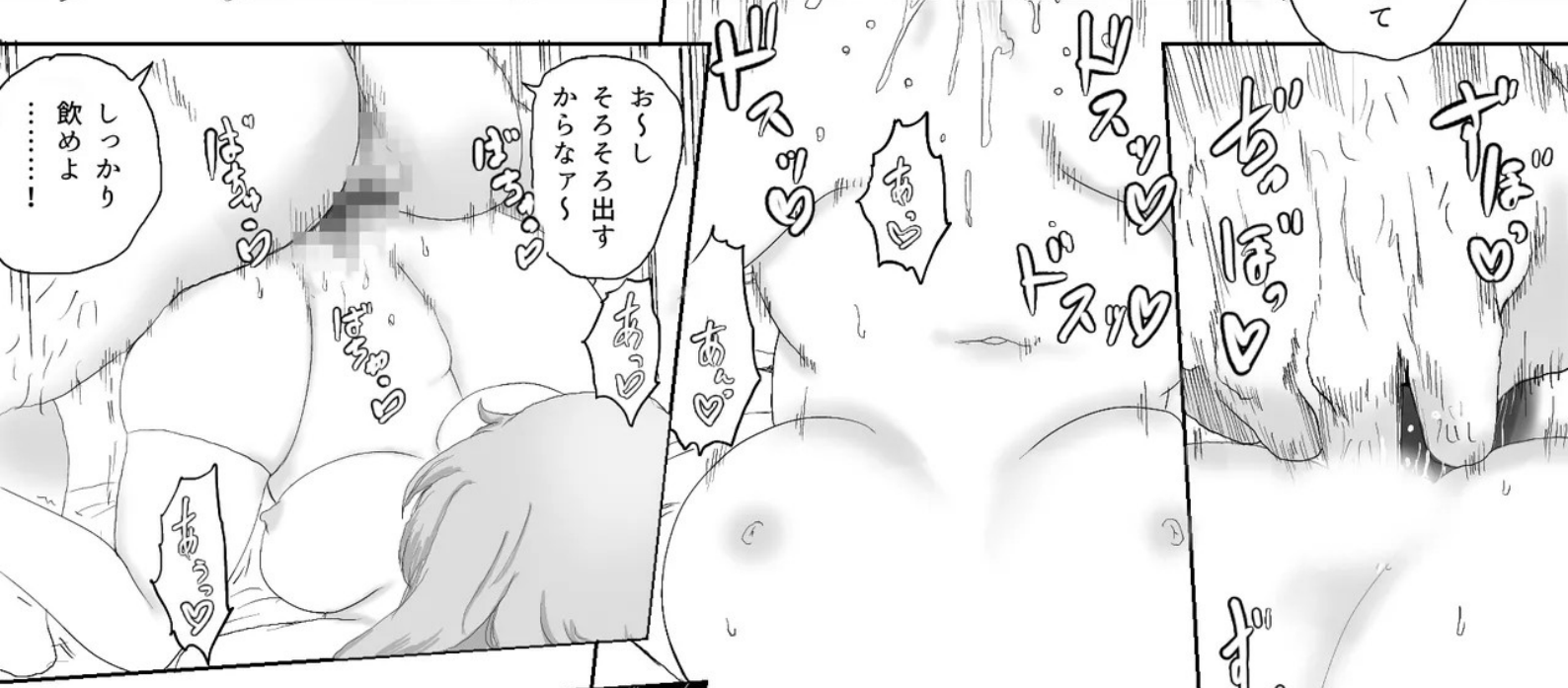
がぁあ、♡

のし、♡



ひいっ♡
いやあっ♡
は 恥ずかしい
.....やあっ♡

ほら
ケツもほじって
やるゾオ



おろし
そろそろ出す
からなア

しっかり
飲めよ
.....!



えっ...
出すとは
何を...!?
ま まさか
.....っ!

どうして
このような目に.....
このままでは

.....♡





な...なに
どゆこと?

指なんか
さしちやって
.....
なんか
喋りなさいよ
何で行為中以外
のよ

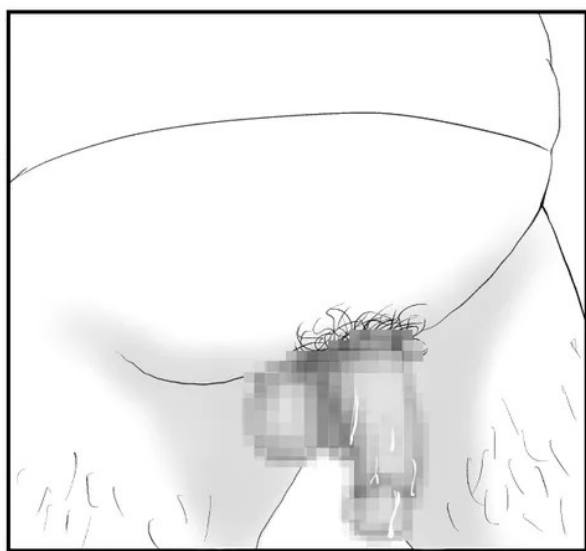


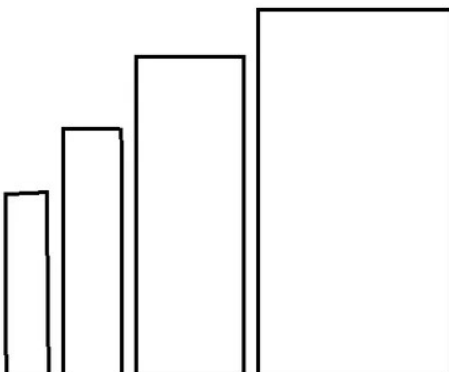
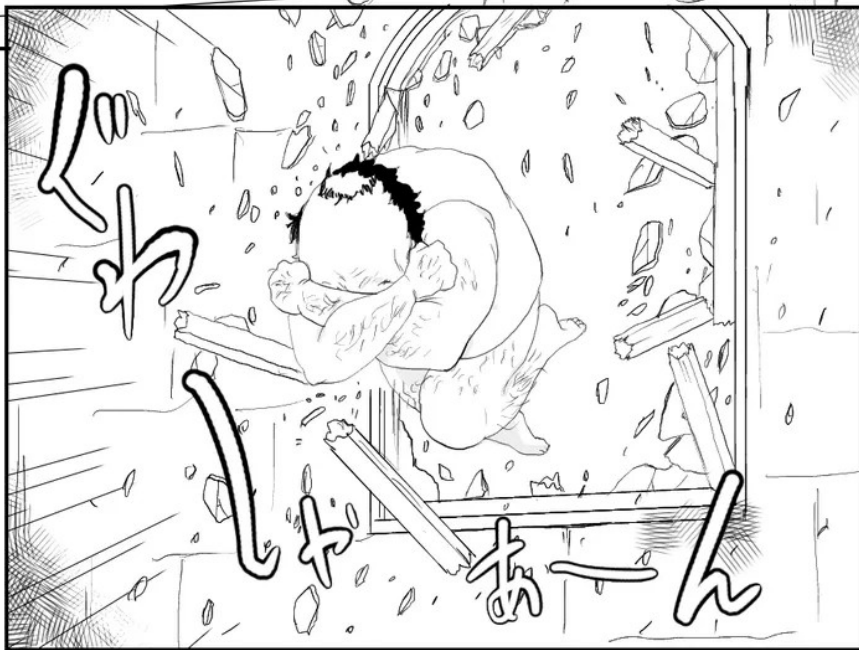
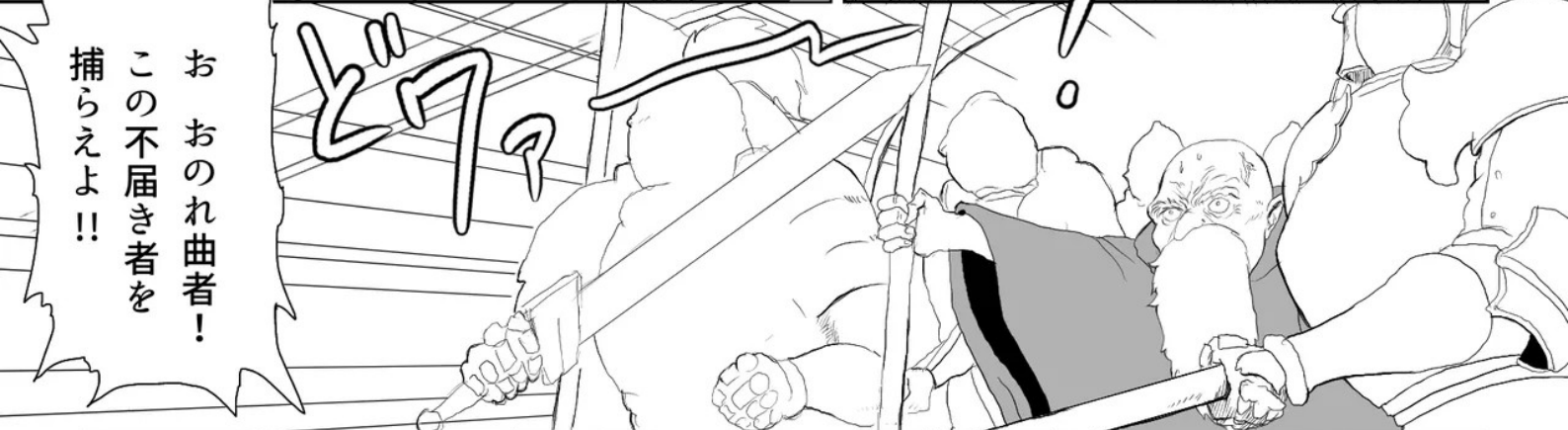
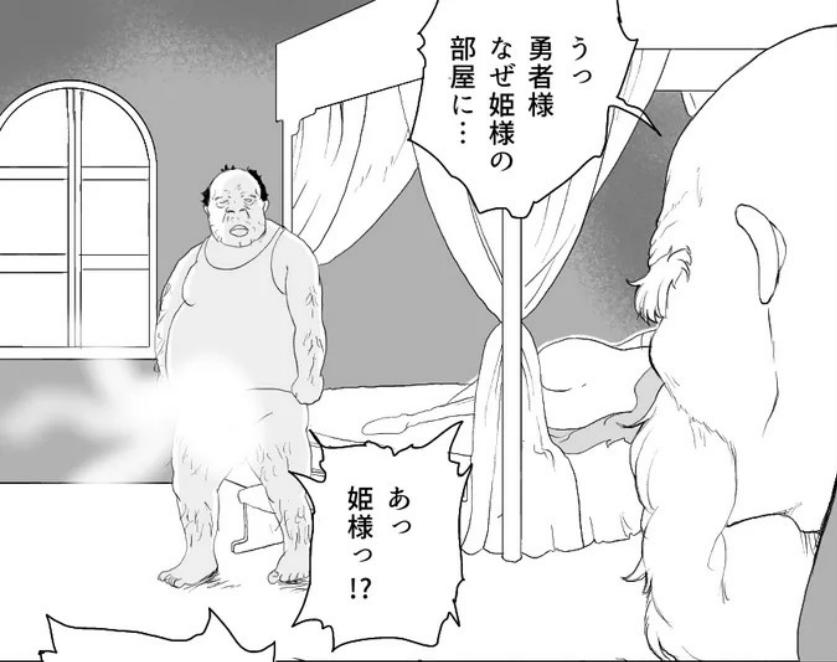
はっ!
まさかっ!?

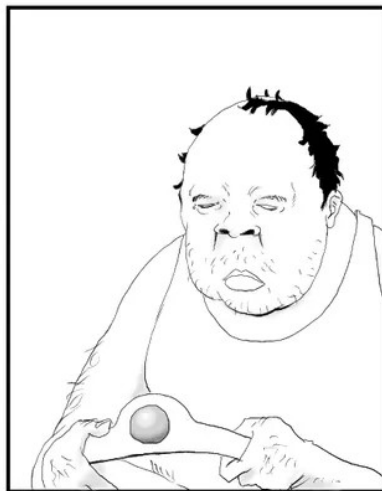
私をシャルロット姫
みたいな目に
あわせてやる
ってこと!?

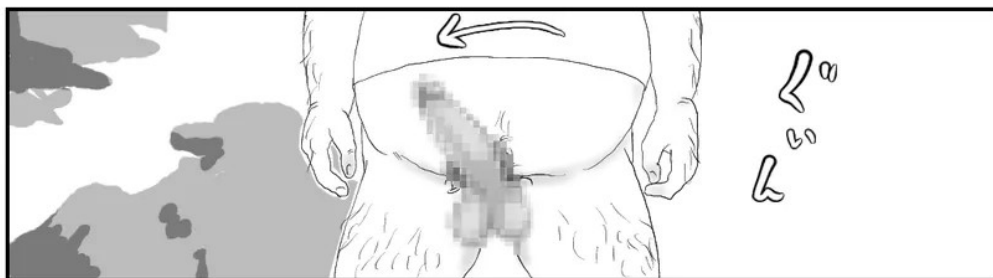
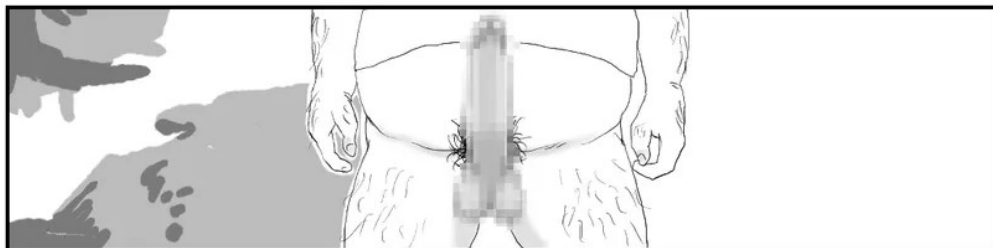
人類の次は
魔族の番だっ!?

それが異世界人の
流儀だとも言うの!?









こうして おじさんは
魔王討伐の旅へと
出かけたのであった

それは使命感に
よるものか
ただのリビドーの
なせる業か

知る者は誰も
いなかった.....

おしまい

